

令和8年度マンホールポンプ施設保守点検業務（その2）特記仕様書

（履行期間）

第1条 業務の履行期間は、令和8年5月1日から令和9年3月31日までとする。

（業務施設）

第2条 受注者が業務を履行するマンホールポンプ施設の仕様等については、別表のとおりとする。

（概要）

第3条 受注者は、マンホールポンプの能力を十分発揮するよう保守点検を行い、技術的な管理を行わなければならない。

（委託業務の範囲）

第4条 業務の対象となる範囲は、マンホールポンプ設備全体とする。

（定義）

第5条 マンホールポンプ設備とは、マンホールポンプピット内の設備一式（汚水ポンプ、水位計、吐出配管、流入副管等）、圧送管、操作制御盤設備のことをいう。

（官公署への手続き）

第6条 作業等に許可協議等が必要な場合、受注者は、関係官公署に必要な許可協議等（道路使用許可・廃棄物対策課協議等）を受けなければならない。

また、道路使用許可に伴う地元自治会への同意書については、受注者にて受領を行うこと。

（保守点検業務）

第7条 保守点検業務の内容は、次のとおりとする。

（イ）定期点検業務

1. 点検場所及び回数

①半年点検（年2回）

尼寺第1ポンプ施設・尼寺第2ポンプ施設
尼寺第3ポンプ施設・今泉第1ポンプ施設
今泉第2ポンプ施設・今泉第3ポンプ施設
別所第1ポンプ施設・別所第2ポンプ施設
北今市第1ポンプ施設・北今市第2ポンプ施設
北今市第3ポンプ施設・北今市第4ポンプ施設
穴虫第1ポンプ施設・高山台第1ポンプ施設
下田東第1ポンプ施設・下田東第2ポンプ施設
磯壁第1ポンプ施設・五位堂第1ポンプ施設
瓦口第1ポンプ施設・瓦口第2ポンプ施設
狐井第1ポンプ施設・穴虫第2ポンプ施設

2. 点検内容

①ポンプ、水位計、ケーブル類等の引き上げ点検及び清掃・高圧洗浄、オイル類

交換、作動状態・劣化具合等の確認

※ポンプ引き上げ作業時には、圧送管をできる限り洗浄すること。

※高圧洗浄については、高圧洗浄機（ハイウォッシャー）によるものとする。高圧洗浄機を使用する場合は飛散防止措置をとること。

②マンホールポンプピット内設備（吐出配管・流入副管・圧送管・逆止弁等）の点検及び清掃、高圧洗浄、浮遊物・異物処理

③ポンプ・警報器等の模擬動作試験

④操作制御盤の点検及び機器の動作（累積稼動時間等）確認

⑤機器の絶縁測定

※点検日より2週間以内においての異常警報があった場合は、ポンプや水位計の設置位置等の確認を指示するので、受注者はその作業を速やかに行うこと。
なお、その費用については受注者が負担するものとする。

⑥穴虫第1ポンプ施設、高山台第1ポンプ施設、北今市第1ポンプ施設について流入口にポンプ詰まり防止装置があるので、異物を除去すること。その際の異物の処分の費用については受注者が負担するものとする。

（ロ）保守業務

①年間予定335日（土日祝及び年末年始（12月29日～1月3日）含む）において、マンホールポンプ運転状況閲覧サービス（ID・パスワードによりWEBサイトで閲覧可能）を1日に2回（12時間程度に1回）確認し、別紙により報告するものとする。ただし、異常や現地確認おこなった際には、別途報告をするものとする。

②マンホールポンプ設備の異常、故障及び警報発令時（自動復帰した場合は除く）は、有資格者（第8条（1）もしくは（2）に該当する者）が速やかに現地にて確認を行い制御盤による復旧を試みること。（費用は委託料に含む）

③制御盤の操作で復旧せず、引き上げ等の作業が必要となった時は、香芝市の担当者へ連絡しその指示に従うこと。（費用は委託料に含まない）

④その他疑義が生じた場合には、両者協議のうえ定めるものとする。

（有資格者）

第8条 業務に必要な有資格者は次のとおりとする。

（1）同等以上のマンホールポンプ設備、または同様の機能を有する水中排水ポンプ施設の維持管理業務の実績を有する者

（2）第2種電気工事士の資格または上級資格を有する者

（3）第2種酸素欠乏危険作業主任者技能講習終了者または酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了者

（その他）

第9条 作業中においては、何を行っているのかがわかるよう看板（下記参照）を設置すること。

ご迷惑をおかけします

マンホール内ポンプの
保守点検をしています

マンホールポンプ
施設点検業務委託

発注者

香芝市都市創造部下水道課
電話 0745-71-6101

受注者

〇〇〇〇会社
電話